

取り組んだ日付を記入しよう。取り組めなかったものには×をつけよう。

基本メニュー (☆☆☆) 全員が必ずやるべきもの	日付
① 漢字練習プリント 60～64 を少しずつ進めていくこと。次回の国語授業で 62 の漢字テストを行います。	
② 語彙プリント 重要語句 555 [次の国語授業で 445～481 (「普遍的」～「耳をふさぐ」) のテストを実施します。 →言葉を聞いて意味がだいたい想像できる、その言葉が入った文章が示された時に使われ方がふさわしいかふさわしくないかが分かる、というところまでは学習しておくことをおすすめします。	
③ 第 35 回 宿題その一 [解答の手がかりや問題の条件等に線を引いて解きましょう]	
④ 第 35 回 宿題その二 [( ) の前後を読み、手がかりに線を引いて解きましょう]	
⑤ 10 月中は「家庭学習用教材 (10 月)」に取り組む (大問一つずつ、それぞれ 30 分前後を目安に取り組むこと。こちらについても、解答の根拠や問題の条件等に線を引いて解くとよいでしょう。また、間違えた問題を中心に解説を読んでおくこと。巻末の解答をていねいに切り取って保護者の手元に置いておき、解説を読ませる時だけ貸し出す形をおすすめします)。	

応用メニュー (☆☆) 余裕があればやるもの	日付
① 第 35 回 授業で解いた演習の [記号選択] 設問の復習 →授業中のメモを見てどうしてその答えになるのか確認しましょう。特に、正しくない選択肢は「どの部分が正しくないのか」まで確認できるとよいです。	
② 第 35 回 授業で解いた演習の [記述] 設問の復習 →×または空欄だった問題はメモを見ながらでよいのもう一度自分の力で書いてみましょう。次の国語授業時に提出があれば添削して返却します。	

### 担当からの連絡

今回は「友人」をテーマとした随筆文を扱いました。今回もやはり、対比がはっきりと出る文章です。何と何が対比となっているか、どこからどこまでが「大人(または子供)」の話になっているか、こちらからの誘導を待たず、自発的に考えて手を動かせるようになってほしいと考えています。

まず「何の話をしているか」をふまえ、全体の話の流れを大まかにでも捉え、そして「対比があるかどうか」を考えてほしいと考えています。今回であれば、「子供⇄大人」、「友だち⇄真の友」といった対比に注目することで大意を外しにくくなります。なお、これらの対比を考えることが、今後も出てくるであろう同じようなテーマの読み取りにもつながっていきます。